



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン 上場取引所 東  
 コード番号 9832 URL http://www.autobacs.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 喜夫巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務担当 (氏名) 平賀 則孝 TEL 03-6219-8787  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日 配当支払開始予定日 平成28年11月25日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	94,820	△3.9	988	△60.4	1,563	△50.0	714	△56.0
28年3月期第2四半期	98,695	0.7	2,496	391.5	3,128	131.6	1,623	285.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △61百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 795百万円 (△22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	8.50	—
28年3月期第2四半期	19.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	173,148	129,172	74.5	1,534.47
28年3月期	180,454	131,747	72.8	1,564.86

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 128,915百万円 28年3月期 131,455百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
29年3月期	—	30.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	206,700	△0.7	5,200	△22.4	6,200	△20.3	3,700	△15.4	44.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

詳細は、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	84,050,105株	28年3月期	86,950,105株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	36,980株	28年3月期	2,945,239株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	84,010,590株	28年3月期2Q	85,462,162株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は平成28年11月1日に証券アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で利用する資料及び説明会の模様（動画）については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 事業環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、不安定な国内外の政治・経済動向を背景に、個人の消費マインドが低調に推移するなど、先行き不透明な状況が続いております。国内の自動車関連消費につきましては、自動車メーカーの新車種の導入などにより普通乗用車の販売台数が回復傾向にあるものの、軽自動車は燃費不正問題の影響などにより販売台数が低迷しており、全体としては厳しい環境が続いております。

#### ② 各事業の状況

##### 〔国内オートバックス事業〕

当第2四半期連結累計期間における日本国内のオートバックスチェーン（フランチャイズチェーン加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店4.2%の減少、全店2.6%の減少となりました。

国内オートバックスチェーンにおけるカー用品販売においては、注目度の高いドライブレコーダーやカーナビゲーションの新モデルなどの品揃えを強化すると共に、プライベートブランド「A.Q.（オートバックス クオリティ）」の商品ラインアップも追加いたしました。しかしながら、カー用品販売といたしましては、軽自動車の販売不調の影響などを受け、タイヤ・ホイール、車内アクセサリ、カーナビゲーションの売上が減少いたしました。また、昨年度スタッドレスタイヤの販売が不振だったこともあり、ノーマルタイヤへの履き替え需要も例年に比べ低迷いたしました。

車検・整備は、車検を受けていただいたお客様向けのサービス「安心3つ星補償」の提供を開始し、認知度を高めるためにテレビコマーシャルを全国規模で実施いたしました。事業環境としては車検対象の車両が減少する厳しい時期であったものの、車検実施台数は前年同期比0.1%増加の約29万6,000台となりました。車買取・販売は、車検と同様にテレビコマーシャルを全国規模で実施し、各店舗において買取を強化したことにより、買取台数が増加し、オートオークションなど中古車販売業者向け販売が伸びました。この結果、総販売台数は前年同期比6.1%増加の約13,600台となりました。

国内における出退店は、新規出店が5店舗、リロケーションが1店舗、退店が7店舗であり、平成28年3月末の599店舗から2店舗減少の597店舗となりました。

なお、9月末のカーズ加盟店舗は前年度末の480店舗から495店舗に増加いたしました。

##### 〔海外事業〕

海外事業は、フランスにおいて利益の拡大を目指しつつ、ASEAN地域において将来の収益の柱とすべく事業拡大を進めております。主要国の状況としまして、フランスは経済の低迷や自然災害など外的要因が重なり、厳しい事業環境が続いております。このような状況下、タイヤ販売をきっかけにサービス売上の比率を高めることにより粗利率の向上に努めておりますが、売上の減少に伴い、前年同期比で営業利益が減少いたしました。タイは「オートバックス ジャラン店」「オートバックス ラップラオ101店」を新規出店し、特にラップラオ101店は、出店以来、売上が好調に推移しています。タイにおいては、小規模店舗において周辺地域のお客様のメンテナンス需要を取り込むモデルを引き続き目指しております。マレーシアは、昨年度出店した3店舗において、メンテナンスサービス中心に業態の実験を進めております。シンガポールにおける事業は堅調に推移しており、更なる資産効率の向上のために、「オートバックス・ロイヤン店」を退店いたしました。

海外における出退店は、2店舗の新規出店、1店舗の退店により、平成28年3月末の33店舗から34店舗になりました。

##### 〔新規事業〕

新規事業は、輸入車ディーラーを運営する子会社において、中古車・サービス収入の拡大や昨年度から継続している従業員の育成や目標管理などの強化により、前年同期比で利益が改善し、営業利益で黒字となりました。

#### ③ 連結業績の概況

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比3.9%減少の948億20百万円、売上総利益は前年同期比4.5%減少の306億53百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比0.2%増加の296億64百万円、営業利益は前年同期比60.4%減少の9億88百万円となりました。経常利益は前年同期比50.0%減少の15億63百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比56.0%減少の7億14百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

<当社>

売上高は、前年同期比5.7%減少の708億68百万円、営業利益は前年同期比52.3%減少の16億78百万円となりました。国内オートバックスチェーン店舗における売上の減少により、タイヤ・ホイールやアクセサリなどの店舗への卸売が減少いたしました。また、これらの商品群の粗利率の低下などにより、売上総利益率は前年の21.0%から20.3%に下落いたしました。販売費及び一般管理費は、あらゆる経費の低減に努める一方、東日本・西日本ロジスティクスセンターにおける設備の入れ替えに関わる費用が増加いたしました。

<国内店舗子会社>

売上高は、前年同期比3.3%減少の312億63百万円、営業損失は前年同期に比べ57百万円改善し、11億29百万円となりました。店舗における売上が減少するなか、在庫の効率化、粗利率の改善、経費の効率的な活用により、営業損失は前年同期比で改善いたしました。

<海外子会社>

売上高は、前年同期比20.3%減少の39億62百万円、営業損失は28百万円（前年同期は1億16百万円の営業利益）となりました。これは主にフランスの子会社の収益が悪化したことなどによります。

<事業子会社>

売上高は、前年同期比1.7%増加の103億25百万円、営業損失は19百万円となりましたが、前年同期に比べ47百万円改善いたしました。これは輸入車ディーラーを行っている子会社やオイルなどの卸売を行っている子会社の利益が改善したことによります。

<機能子会社>

売上高は、前年同期比11.6%減少の14億69百万円、営業利益は前年同期比12.3%減少の1億90百万円となりました。

<営業利益における連結調整の内容>

セグメントの営業利益の合算額から連結営業利益への調整額は、プラス2億97百万円となりました。これは主に未実現利益の変動によるものです。

④ 「2014中期経営計画」の進捗状況

「2014中期経営計画」の各施策の推進状況につきましては、「国内オートバックス事業」におきまして、メンテナンス会員向けの特典を2項目追加し、その利便性をお客様に訴求することにより、引き続き車検やタイヤの販売に繋げる活動を推進しております。また、車検においては、車検を受けていただいたお客様向けのサービス「安心3つ星補償」の提供を開始し、お客様から好評をいただいております。さらに、車検を受けていただいたお客様の次回の車検予約獲得に努めております。車買取・販売においては、カーズ加盟店舗を増加させる一方、中古車の買取専門業態である「オートバックス車買取専門店」を平成28年3月より合計5店舗出店し、今まで当社が行っていなかった都市部における車両の買取を推進しております。

国内店舗子会社の収益改革につきましては、事業環境が厳しいものの、在庫の効率化、粗利率の改善に努めると共に、不採算店舗5店舗を閉店いたしました。

また、お客様からアンケートにて頂いたご意見を個別の店舗に対する改善点としてフィードバックし、より優れた店舗運営に役立てる仕組みを開始いたしました。さらに、商品・サービスに関して、よりお客様に寄り添ったご提案をすることを目的に、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社と新たなマーケティングサービスを提供する合弁会社の設立、ポイントサービスのTポイントへの統一などについての基本合意に至りました。

「海外事業」は、フランスにおいて店舗・売場の規模の適正化を図る一方、ASEAN地域においては、主に小規模店舗による実験を積極的に行っております。当第2四半期連結累計期間といたしましては、マレーシア企業のKit Loongグループと、同社グループからマレーシア国内のオートバックス店舗に対する商品の供給や、同社グループに対するカーアクセサリやカーパーツ関連商品の供給についての資本・業務提携を合意いたしました。

「新規事業」は、他社との提携、M&Aおよび出資などについても検討を続けており、事業の拡大を目指しております。

なお、平成28年5月10日発表の「平成28年3月期 決算短信」にてお知らせいたしましたとおり、「2014中期経営計画」につきましては、現在、新経営体制において、その経営目標や具体的な戦略や施策について見直しを行っております。今後の中期的な経営方針および基本戦略については、平成28年10月31日発表の「中期的な経営方針、基本戦略に関するお知らせ」にて開示いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4.0%、73億6百万円減少し、1,731億48百万円となりました。これは、主に機械及び装置が増加した一方、未収入金が減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9.7%、47億31百万円減少し、439億75百万円となりました。これは、主に未払金が減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.0%、25億75百万円減少し、1,291億72百万円となりました。これは、主に利益剰余金の配当などによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ25億46百万円減少し、340億32百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

主に、法人税等の支払額16億49百万円がありました一方で、税金等調整前四半期純利益15億63百万円および売上債権の減少31億81百万円等があり、29億38百万円の資金の獲得（前第2四半期連結累計期間は42億70百万円の資金の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

主に、定期預金の払戻による収入3億45百万円がありました一方で、有形及び無形固定資産の取得による支出27億42百万円および定期預金の預入による支出1億91百万円等があり、26億28百万円の資金の支出（前第2四半期連結累計期間は34億40百万円の資金の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

主に、長期借入れによる収入1億40百万円がありました一方で、配当金の支払額25億20百万円および長期借入金の返済による支出1億90百万円等があり、27億5百万円の資金の支出（前第2四半期連結累計期間は82億40百万円の資金の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は平成28年5月10日発表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成28年10月28日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,052	34,302
受取手形及び売掛金	19,655	20,753
商品	17,213	17,116
未収入金	19,039	14,662
その他	14,806	14,128
貸倒引当金	△112	△113
流動資産合計	107,655	100,849
固定資産		
有形固定資産		
土地	22,449	22,449
その他(純額)	19,816	20,729
有形固定資産合計	42,265	43,179
無形固定資産		
のれん	852	730
その他	5,052	4,592
無形固定資産合計	5,904	5,322
投資その他の資産		
差入保証金	16,198	15,942
その他	8,720	8,142
貸倒引当金	△290	△288
投資その他の資産合計	24,628	23,795
固定資産合計	72,799	72,298
資産合計	180,454	173,148
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,835	13,392
短期借入金	2,432	3,089
未払金	11,219	8,787
未払法人税等	1,885	837
事業再構築引当金	76	65
その他の引当金	532	535
その他	5,500	5,086
流動負債合計	35,482	31,795
固定負債		
長期借入金	2,343	1,506
引当金	87	88
退職給付に係る負債	121	126
資産除去債務	2,269	2,311
その他	8,402	8,146
固定負債合計	13,224	12,180
負債合計	48,707	43,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,299	34,299
利益剰余金	67,125	59,408
自己株式	△5,976	△55
株主資本合計	129,447	127,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,491	1,142
為替換算調整勘定	516	121
その他の包括利益累計額合計	2,008	1,264
非支配株主持分	292	256
純資産合計	131,747	129,172
負債純資産合計	180,454	173,148



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	98,695	94,820
売上原価	66,587	64,167
売上総利益	32,107	30,653
販売費及び一般管理費	29,611	29,664
営業利益	2,496	988
営業外収益		
受取利息	40	33
受取配当金	46	46
情報機器賃貸料	563	501
その他	1,041	870
営業外収益合計	1,692	1,451
営業外費用		
支払利息	25	16
持分法による投資損失	27	49
情報機器賃貸費用	639	464
その他	368	345
営業外費用合計	1,060	876
経常利益	3,128	1,563
税金等調整前四半期純利益	3,128	1,563
法人税、住民税及び事業税	1,470	627
法人税等調整額	49	239
法人税等合計	1,520	867
四半期純利益	1,608	695
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,623	714
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△18
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△762	△338
為替換算調整勘定	△51	△386
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△31
その他の包括利益合計	△812	△756
四半期包括利益	795	△61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	819	△30
非支配株主に係る四半期包括利益	△23	△31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,128	1,563
減価償却費	1,888	2,055
のれん償却額	69	89
事業再構築引当金の増減額 (△は減少)	△0	△11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17	2
受取利息及び受取配当金	△87	△80
支払利息	25	16
持分法による投資損益 (△は益)	27	49
売上債権の増減額 (△は増加)	2,782	3,181
リース投資資産の増減額 (△は増加)	189	647
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△646	△85
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,319	△345
その他	△2,809	△2,566
小計	5,904	4,517
利息及び配当金の受取額	106	88
利息の支払額	△26	△17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,714	△1,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,270	2,938
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△368	△191
定期預金の払戻による収入	541	345
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,605	△2,742
有形及び無形固定資産の売却による収入	11	21
投資有価証券の取得による支出	△0	△24
投資有価証券の売却及び償還による収入	22	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	29	—
貸付けによる支出	△57	—
貸付金の回収による収入	37	38
その他	△51	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,440	△2,628
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	910	△128
長期借入れによる収入	830	140
長期借入金の返済による支出	△2,241	△190
自己株式の取得による支出	△5,247	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3	△1
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	134	—
配当金の支払額	△2,597	△2,520
その他	△25	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,240	△2,705
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,434	△2,546
現金及び現金同等物の期首残高	42,218	36,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,783	34,032

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成28年5月10日開催の取締役会決議に基づき、平成28年5月31日付で、自己株式2,900,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金および自己株式がそれぞれ5,910百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	55,060	31,780	4,796	6,523	534	98,695
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,084	534	176	3,627	1,128	25,550
計	75,144	32,315	4,973	10,150	1,662	124,246
セグメント利益又は損失(△)	3,515	△1,186	116	△66	217	2,596

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,596
セグメント間取引消去	△355
のれんの償却額	△51
ポイント引当金洗替額	△0
棚卸資産の調整額	13
固定資産の調整額	254
その他	39
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,496

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	52,694	30,729	3,851	7,131	414	94,820
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,173	533	111	3,194	1,055	23,068
計	70,868	31,263	3,962	10,325	1,469	117,889
セグメント利益又は損失(△)	1,678	△1,129	△28	△19	190	691

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	691
セグメント間取引消去	△202
のれんの償却額	△69
ポイント引当金洗替額	△5
固定資産の調整額	193
棚卸資産の調整額	325
その他	54
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	988

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

①部門別連結売上高及び構成比率

部門	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門	53,455	56.4	96.9
小売部門	39,977	42.1	95.2
その他(リース物件の賃貸借料)	1,388	1.5	88.7
合計	94,820	100.0	96.1

(注) 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

②商品別連結売上高及び構成比率

品目	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門			
タイヤ・ホイール	12,911	24.2	93.4
カーエレクトロニクス	11,198	20.9	96.3
オイル・バッテリー	8,382	15.7	104.7
アクセサリ・メンテナンス用品	12,936	24.2	96.0
車検・サービス	2,244	4.2	107.6
車販売	1,696	3.2	85.3
その他	4,085	7.6	98.9
小計	53,455	100.0	96.9
小売部門			
タイヤ・ホイール	6,473	16.2	90.1
カーエレクトロニクス	5,406	13.5	91.9
オイル・バッテリー	3,440	8.6	95.8
アクセサリ・メンテナンス用品	10,149	25.4	93.9
車検・サービス	7,906	19.8	100.1
車販売	5,302	13.3	105.0
その他	1,299	3.2	83.2
小計	39,977	100.0	95.2
その他(リース物件の賃貸借料)	1,388	—	88.7
合計			
タイヤ・ホイール	19,384	20.4	92.3
カーエレクトロニクス	16,604	17.5	94.8
オイル・バッテリー	11,822	12.5	102.0
アクセサリ・メンテナンス用品	23,086	24.4	95.1
車検・サービス	10,150	10.7	101.7
車販売	6,999	7.4	99.4
その他	6,773	7.1	93.3
合計	94,820	100.0	96.1

(注) 1. 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 売上の商品構成の変化に合わせた開示とするため、当連結会計年度より品目区分を変更しております。従来の「車外用品」「車内用品」「カースポーツ用品」を「アクセサリ・メンテナンス用品」として一括表示するとともに、「その他」に含めておりました「車販売」を区分表示に変更しております。また、「サービス」は「車検・サービス」に名称変更しております。これに伴い、前年同期比も変更後の区分に組み替えた数値と比較しております。
3. 卸売部門および小売部門の「その他」は、中古カー用品販売およびロイヤリティ収入等であります。
4. 持分法適用関連会社(株)バッファロー他5社に対する売上高は、卸売部門に入っております。